

2. 歩道整備

	タイトル	意見等
1	自転車歩行者道の自転車通行帯の明確化と周知の徹底などについて	自転車歩行者道（以下、自歩道）がある県道徳島鴨島線の徳島市体育館前などでは自転車と歩行者の通行分離がなされているにも関わらず、歩行者が自転車の通行帯を堂々と歩いています。また、逆（自転車が歩行者の通行帯を走行）もありますし、自転車通行帯を歩く歩行者の後ろから突然自転車が歩行者を追い越してくる場面があり、とても危ないと感じています。 これらは通行帯区分（色の違いなど）が明確でなく（通行帯の所々に表示はありますが）わかりにくいことや、県民（徳島市民）に十分な周知がされていないため、自歩道の通行が区分されていることを知らない、が原因の一端であると推察されます。 以前「自歩道内のカラー舗装について」で色の違いが指摘されておりましたが、徳島市内に設置されている国道や県道の自歩道の通行区分の色がバラバラであるにも関わらず、一向に変更することなく放置しているので、こちらの目安箱で提言や意見することは県政になんの意味も持たないのでしょうか？ ついでに県道徳島鴨島線のポッポ街西出入口前にはいつも多数の自転車が駐輪されていますが、道路管理者の県として駐輪を認めているのでしょうか？ 徳島市の自転車放置禁止地区には該当しないので、問題がないのでしょうか？ ここは朝夕の通勤・通学時間帯には多くの歩行者や自転車が通行しており、私が自転車通行帯を南進している際、並走して北進してきた若者2人が駐輪している自転車をよけて突っ込んできたため、2人の内の1人と肩同士がぶつかりました。幸いにして転倒することもなく怪我もなかったので、そのまま立ち去った若者2人を追いかけて注意することはしませんでした。後から放置自転車に対する怒りがこみ上げてきました。 道路管理者もしくは警察から指導するなどして駐輪をやめさせることはできませんか？ 何もせず放置するから毎日駐輪が行われるのだと思います。 以上、適切かつスムーズな対応に期待しています。
2	徳島県立中央病院―徳島大学医学部・歯学部・薬学部門の前の歩道について	国道192号線沿いの徳島県立中央病院―徳島大学医学部・歯学部病院・薬学部門の前の歩道は赤褐色の歩道部分がガタガタで、歩行や車椅子また自転車での通行が困難な状況にあります。 何とか点字ブロックは残っているものの蹟いて転けることも想定されます。 恐らく施工から十数年経過しそのまま放置されていると思われます。 徳島県立中央病院、徳島大学医学部・歯学部病院・薬学部は徳島の一つの顔でもあり、県内外、四国他県や関西、関東から多くの患者さんが治療に訪れています。 早急に舗装し直すことを希望致します。